

第12回東北選抜学童軟式野球大会予選リーグ規定

1. 選手登録について

- (1) 予選リーグは、25名まで登録可能。大会期間中での変更は認めません。
ただし、登録選手が25名未満であれば追加は認める。監督・コーチも同様とする。
- (2) 予選リーグの背番号については、試合当日のメンバー表交換での記載番号を採用する。
- (3) 本選出場確定クラブは、登録選手内にて背番号付のメンバー表を再度提出する。(別紙)

2. 試合時間・会場について

- (1) 両クラブ協議の上、決定してください。球場代など、試合にかかる予算も両クラブで負担願います。

3. 試合進行

- (1) 野球競技区画線(学童部) 塁間23m、投手間16m、固定ベース(移動ベース可)で行います。試合球はC号球で行います。※大会公認球はトップボールですが、予選は他社ボールでも可能。
- (2) ベンチは、ホームチームが一塁側、アウエーチームが三塁側。
- (3) 主審・塁審の4名は、両クラブより2名ずつ派遣。主審(アウエー)・塁審(ホーム2名・アウエー1名)の体制を推奨する。当日の状況にて適切な対応をお願いします。
※予選の主審・塁審のジャッジは、両クラブの代表者または監督が了解して試合開始した時点で、試合中の判定への批判・反論は出来ないものとする。審判を務める者にミス判定があった場合は、審判4名の協議の上、公平な判定を行う。
- (4) ボール・ロジン等の試合で使用するものは両クラブで準備する事。
- (5) シートノック等は、両チーム協議のうえ実施する。
- (6) ベンチに入れる人員は、代表責任者1名(成人)・監督1名(成人)・コーチ2名(成人)・スコアラ(小学生可)・登録選手25名以内とする。
- (7) 全試合7回戦。3回以降10点差。5回以降7点差のコールド制を採用する。
- (8) 7回終了時引き分けの場合、**1アウト満塁・継続打順**の特別延長を行う。
- (9) 引き分けは、なしとする。
- (10) 雨天や災害等で試合進行が困難な場合は、4回終了時点で試合成立とする。
- (11) 4回終了までの試合続行が不可能となった場合は、別日に継続試合を採用する。
- (12) 試合進行にあたり、項目以外は2016年公認野球規則・競技者必携を準用する。

4. 予選リーグ順位

- (1) 勝ち数を最優先。次にリーグでの直接勝敗で順位を確定させる。
- (2) 同順位に3クラブ以上並んだ場合で、直接勝敗で確定できない場合は、得失点差により順位を決する。得失点差でも並んだ場合は、総失点数→総得点数の順で判断する。
- (3) 得失点差は、コールドゲーム得失点制を採用する。
コールドゲームの得失点差は何点差であろうが4回以内コールド終了は10点。
5・6回コールド終了は7点。7回終了時に8点以上差の場合も7点で計算する。
8回以降の特別延長にて決した場合は、得失点を1点とする。

5. 取決め事項

- (1) ユニホーム・スパイクは、必ずチームで統一したものにしてください。監督・コーチもユニホームを必ず着用してください。カラーソックスはチーム内統一であれば可能とする。指導者は同色であればトレーニングシューズを可能とする。
- (2) 試合前に、グラウンドルールを審判より明確に説明してから行うこと。
- (3) 無登録選手を出場させた場合、没収試合として違反を犯したクラブの敗戦とする。
選手の重複出場があった場合は、対象クラブは大会辞退とする。
- (4) 予選リーグのスポーツ保険等は、各クラブで加入してください。本戦は本部の定めた機関にて、大会専用傷害保険に加入するものとする。

6. 大会本部より

予選リーグは参加チームの皆様のご協力が必要です。連絡者は事前に連絡を取り合い、円滑な日程調整・試合進行に努めていただければ幸いです。同リーグの複数チームより苦情が多いチームに関しては、本部より指導させていただきます。不適格と判断した場合は、辞退とさせていただきますのでご注意ください。

また予選・本戦含めまして指導者は大会規約に関して熟読して頂き、試合・大会進行の妨げになる行為・本部や審判の指示に反する行為をされる指導者に関しては、退場処分とさせていただきます。